

# 2026年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社船場 証券コード:6540

1

決算の状況（2026年12月期第1四半期）

2

トピックス

3

参考資料

# 1

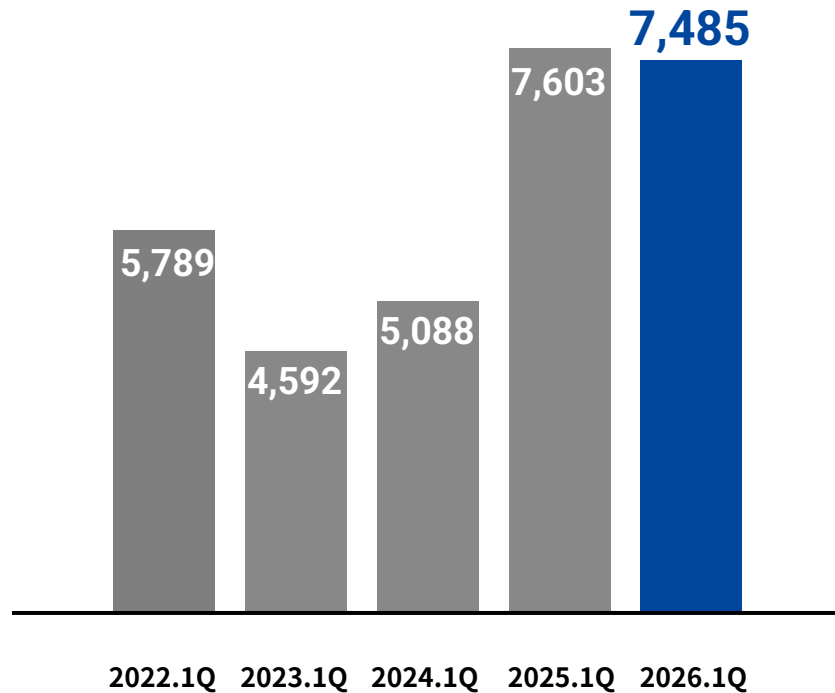
## 決算の状況（2026年12月期第1四半期）

## 業績ハイライト

売上高は、前年同期に大型の福岡空港PJが売上計上された反動もあり減収となったが、想定通りの進捗。

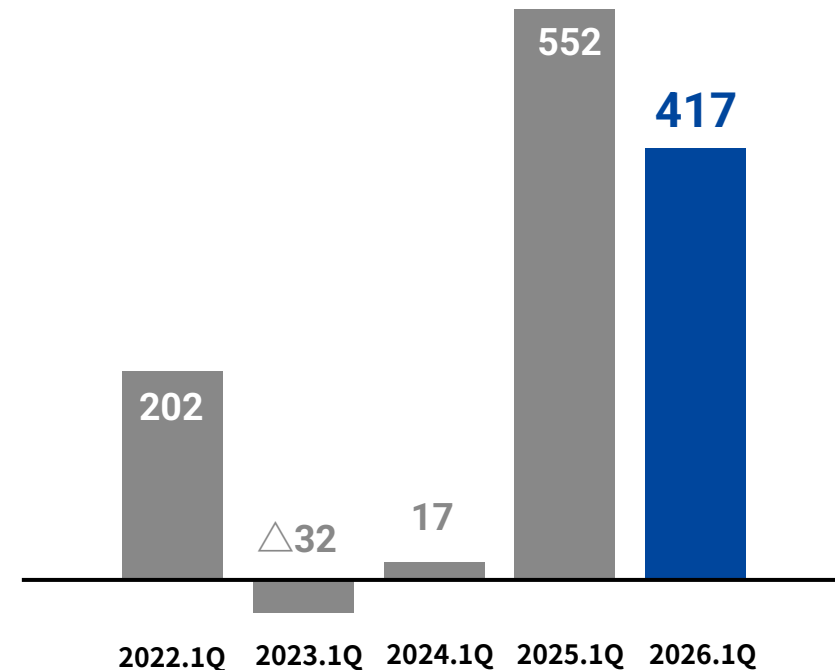
営業利益は、前年同期と比べ今後の売上拡大に向けた体制強化に伴う人員増加などにより販管費が増加し減益。

売上高



営業利益

[単位：百万円]



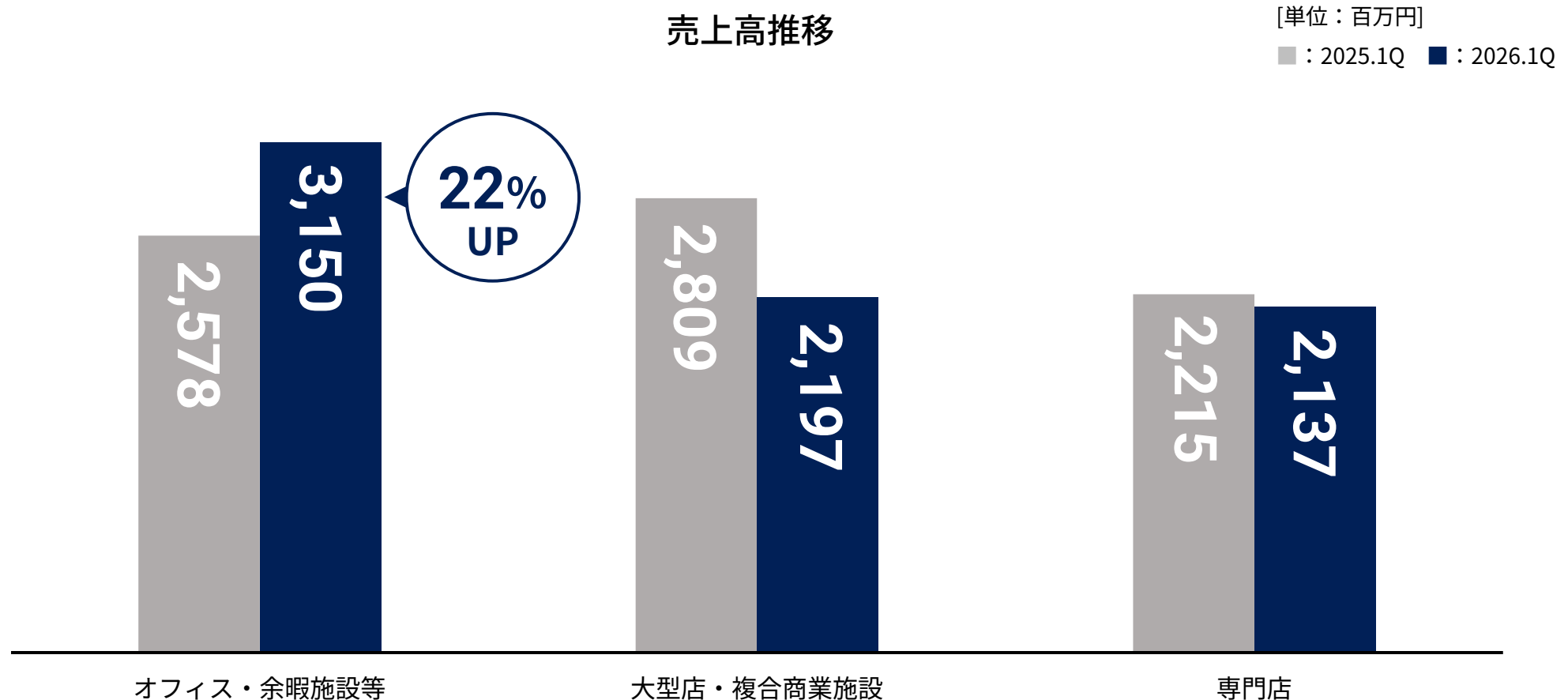
## 連結損益計算書

	2025.1Q		2026.1Q		前期比	ポイント
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比		
売上高	7,603	100.0%	7,485	100.0%	98.5%	前年に大型プロジェクトの売上計上の反動もあり減収
売上原価	6,114	80.4%	5,993	80.1%	98.0%	協力企業との密な連携と早期発注におけるコスト管理などに伴い原価率が改善
売上総利益	1,488	19.6%	1,492	19.9%	100.2%	減収だったものの原価率の改善に伴い増益
販管費	936	12.3%	1,074	14.4%	114.7%	成長に向けた体制強化に伴う人員増加などにより人件費が増加
営業利益	552	7.3%	417	5.6%	75.6%	販管費の増加に伴い減益
経常利益	555	7.3%	467	6.2%	84.0%	営業利益の減少に伴い減益
親会社株主に帰属する四半期純利益	378	5.0%	311	4.2%	82.3%	税金等調整前四半期純利益の減少に伴い減益

## 売上高：市場分野別 内訳

引き続き、マーケットが活況であるオフィス・余暇施設等の戦略的営業活動を推進しており、前年同期比22%の増収。

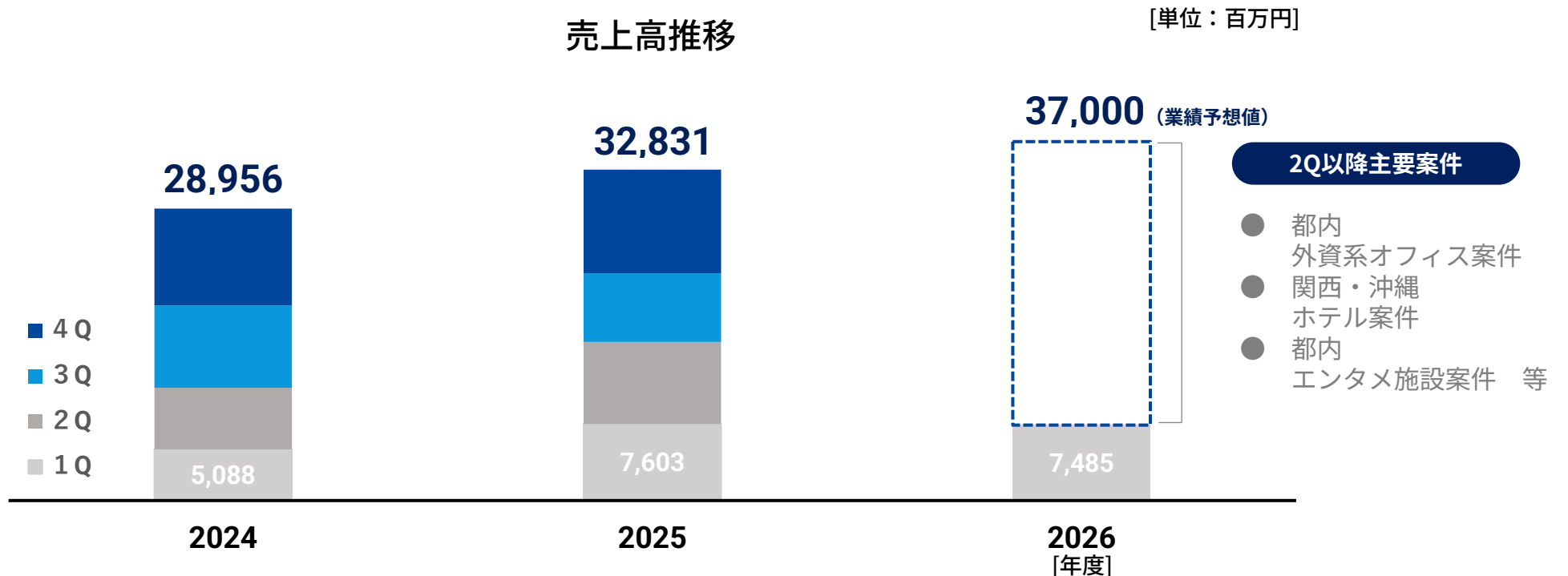
大型店・複合商業施設は、社内体制を整え受注拡大に努めるも、第1四半期での売上計上物件は少なく減収。



## 受注残高及び第2四半期以降見通し

- オフィス・余暇施設等の大型案件を中心に受注拡大が進んでおり、受注残高は前年同期比+5.5% (+463百万円)、2025年12月末と比較しても+4.9% (+412百万円)と順調に積み上げ。
- 計画通りの進捗から、2026年2月13日公表の通期業績予想値は据え置き。

第1四半期末 受注残高	6,051	8,378	8,841
----------------	-------	-------	-------



## 連結貸借対照表

	2025.12末		2026.1Q			ポイント
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比	前期末比	
流動資産	19,840	89.6%	19,111	89.0%	96.3%	運転資金の増加により現金及び預金が減少
固定資産	2,298	10.4%	2,369	11.0%	103.1%	退職給付に係る資産などの増加
<b>資産合計</b>	<b>22,138</b>	<b>100.0%</b>	<b>21,481</b>	<b>100.0%</b>	<b>97.0%</b>	
流動負債	7,110	32.1%	6,940	32.3%	97.6%	契約負債の増加があったものの支払による仕入債務の減少などにより減少
固定負債	438	2.0%	460	2.1%	105.1%	預り保証金などの増加
<b>負債合計</b>	<b>7,548</b>	<b>34.1%</b>	<b>7,401</b>	<b>34.5%</b>	<b>98.1%</b>	
純資産	14,589	65.9%	14,079	65.5%	96.5%	親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの配当金の支払などにより減少
<b>負債純資産合計</b>	<b>22,138</b>	<b>100.0%</b>	<b>21,481</b>	<b>100.0%</b>	<b>97.0%</b>	

2

トピックス

# 「福岡空港国際線ターミナル」が世界三大デザイン賞 「iF Design Award 2026」を受賞

当社が手掛けた「福岡空港国際線ターミナル」が、ドイツの国際的なデザイン賞であり、世界三大デザイン賞のひとつに数えられる「iF Design Award 2026」を受賞。世界68の国・地域から集まった10,000件以上の応募作品の中から、厳正な審査を経て受賞に至りました。無機質で手狭だった空港空間を「日本との初めての出会い」そして「最後に旅の余韻を感じる場」として訪れる人の記憶に残る場へと再生。通過点だった空港を「文化体験の場」へと転換した独自性が評価されました。



グランドオープン：2025年3月28日

所在地：福岡県福岡市

クライアント：福岡空港(株)

担当業務：共通環境および免税各店売場デザイン・設計、内装監理、制作・施工

※2026年4月27日にドイツ・ベルリンで開催された授賞式

専門店

# 眠れるモンスターのワンダーランド、原宿の地下に再び KAWAII MONSTER LAND -HARAJUKU-

かつて原宿で世界中のファンを魅了した「KAWAII MONSTER CAFE」のIPを進化させた、「KAWAII MONSTER LAND -HARAJUKU-」において、当社は増田セバスチャン氏の総合プロデュース・クリエイティブディレクションのもと、内装の設計・施工を担当。本施設は、色彩あふれる地下空間を舞台に、来場者は施設内を回遊しながら、ライブ要素を含むさまざまな体験コンテンツを通じて物語の世界に入む体験価値重視の複合エンターテインメント施設です。地下区画という空間的な制約が多い中、基本設計段階からBIMを活用することで世界観を最大限に具現化。各分野の専門家と連携しながら、複合エンターテインメント施設ならではの総合的な空間演出を実現しました。



開業日：2026年2月  
所在地：東京都渋谷区  
クライアント：(株)GENDA GiGO Entertainment  
担当業務：内装デザイン・設計、制作・施工、BIM  
総合プロデューサー：増田 セバスチャン

専門店

# シンガポールに初の海外出店 Ginza Sushi Arai Singapore

当社は、東京・銀座の名店「鮨 あらい」の海外初の店舗となる「Ginza Sushi Arai Singapore」の施工を担当。同店は、本店の哲学を忠実に継承した店舗としてシンガポールにオープン。店内はミニマルな和のデザインを基調に、木曽檜や北山杉を使った日本の職人技が随所に生かされています。日本企業の海外における空間づくりを手掛けてきた実績をもとに、細部に宿る緻密さを徹底的に追求し、現地の文化や環境に合わせた高い施工力により、日本らしい空間の美しさを実現しました。



開業日：2026年2月

所在地：6 Raffles Blvd, #04-600, Singapore Parkroyal Collection Marina Bay内

運営会社：HK & HM Gourmet Pte Ltd

担当業務：実施設計・施工

オフィス・余暇施設等

# インクルーシブにも配慮した、地域最大級の全天候型室内遊び場 あそぼっちゃ

雨天や酷暑など天候に左右されず遊ぶことができる地域最大級の室内型子どもの遊び場「あそぼっちゃ」。行橋市の自然や文化をデザインに取り入れながら、0～12歳までの子どもが年齢や障がいの有無にかかわらず一緒に遊べる、インクルーシブな遊び場を創造しました。大規模な空間を年齢ごとに分け、年齢差による衝突を回避しながらそれぞれに合った遊び方で過ごせるように設計。雲や空をイメージした2階建ての大型ネット遊具や複合遊具を設置し、全身を使って遊べる場所としました。



所在地：福岡県行橋市

クライアント：行橋市

担当業務：内装デザイン・設計、制作・施工

オフィス・余暇施設等

## 船場とヤマハ発動機がバイク部品を使ったファニチャーを共創 共創スペース「YAMAHA MOTOR Regenerative Lab」プロジェクト第2弾

当社は、「日本空間デザイン賞2025」企業プロモーション空間部門において最高賞である「金賞」および「ヤングタレント賞」を受賞したヤマハ発動機(株)の共創スペース「YAMAHA MOTOR Regenerative Lab (リジェラボ)」において、第2弾となるファニチャーを同社との共創により、企画デザイン・制作。今回は「バイク」をテーマに、磨き上げられてきたモノづくりの技術や職人の情熱など、普段は見えにくいモノづくりの裏側や価値を空間の中で体感できるファニチャーを制作しました。



撮影：Aoki Katsuhiko

■ 「YAMAHA MOTOR Regenerative Lab」公式サイトは[こちら](#)

■ 第一弾のプレスリリースは[こちら](#)

# 3

## 参考資料

## 企業概要

会社名	株式会社船場（英文名称：SEMBA CORPORATION）
代表者	代表取締役社長 小田切 潤
創 業	1947年（昭和22年7月）
設 立	1962年（昭和37年2月）
所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館 9F
事業内容	<p>空間創造における調査・分析、コンセプトメイキング、企画・コンサルティング、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出、メンテナンスならびに施設運営。</p> <p>大型商業施設や飲食店といった商空間から、オフィス、教育、ヘルスケア、ホテル、余暇施設など幅広い分野において、国内および海外5拠点で事業を展開。「未来にやさしい空間を」をミッションに、空間創造の全プロセスを一貫してサポートしていきます。</p>
従業員数	船場グループ554名 （2025年12月末）

## 展開拠点 アジア圏に広がるグループネットワーク

### 海外拠点

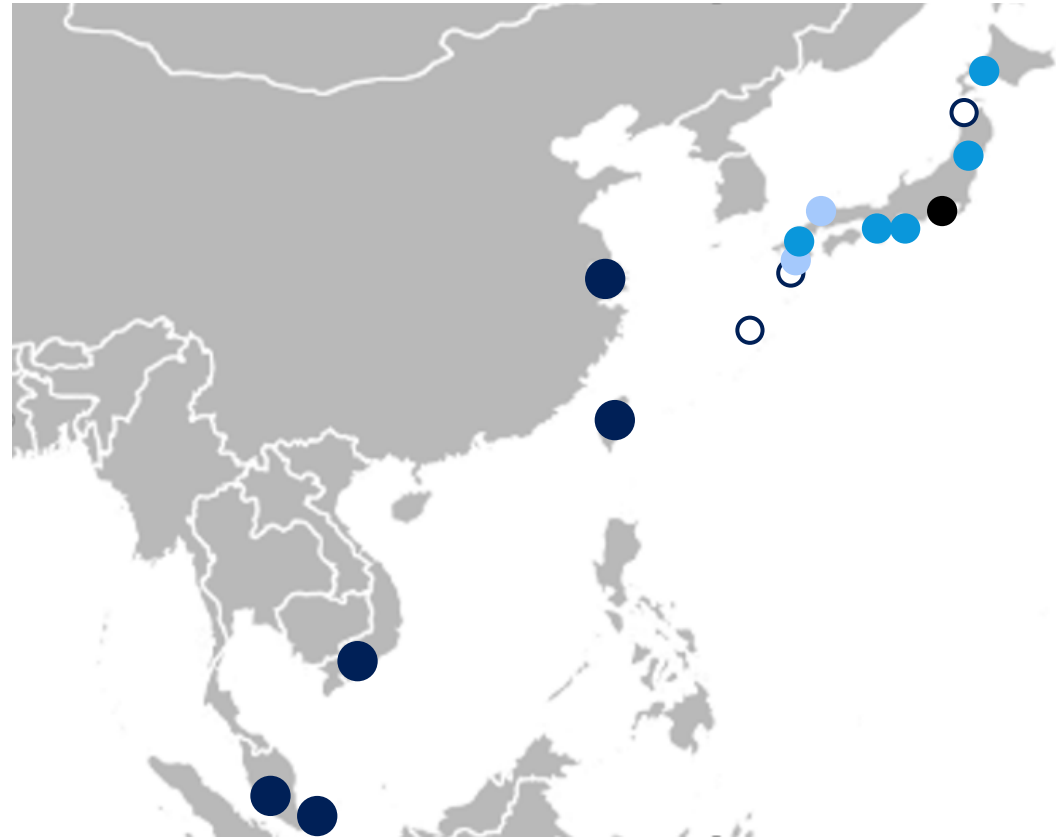
台湾（1987年設立）

シンガポール（1990年設立）

上海（2006年設立）

ベトナム（2013年設立）

マレーシア（2019年設立）



### 東京本社

### 支店

北海道・仙台  
名古屋・大阪・福岡

### 生産工場

出雲・熊本

### 地域法人

青森・鹿児島・沖縄

企業理念

S U C C E S S P A R T N E R

Vision

***Good Ethical Company***

**気のあるエシカルな仲間たち**

空間創造で培ってきた人への配慮や思いやりの姿勢を、地域や自然環境にまで広げ、  
より良い社会の構築を目指すエシカルな存在になります。  
さらに、私たちの想いに共感する仲間を増やし、循環型社会の共創を目指します。

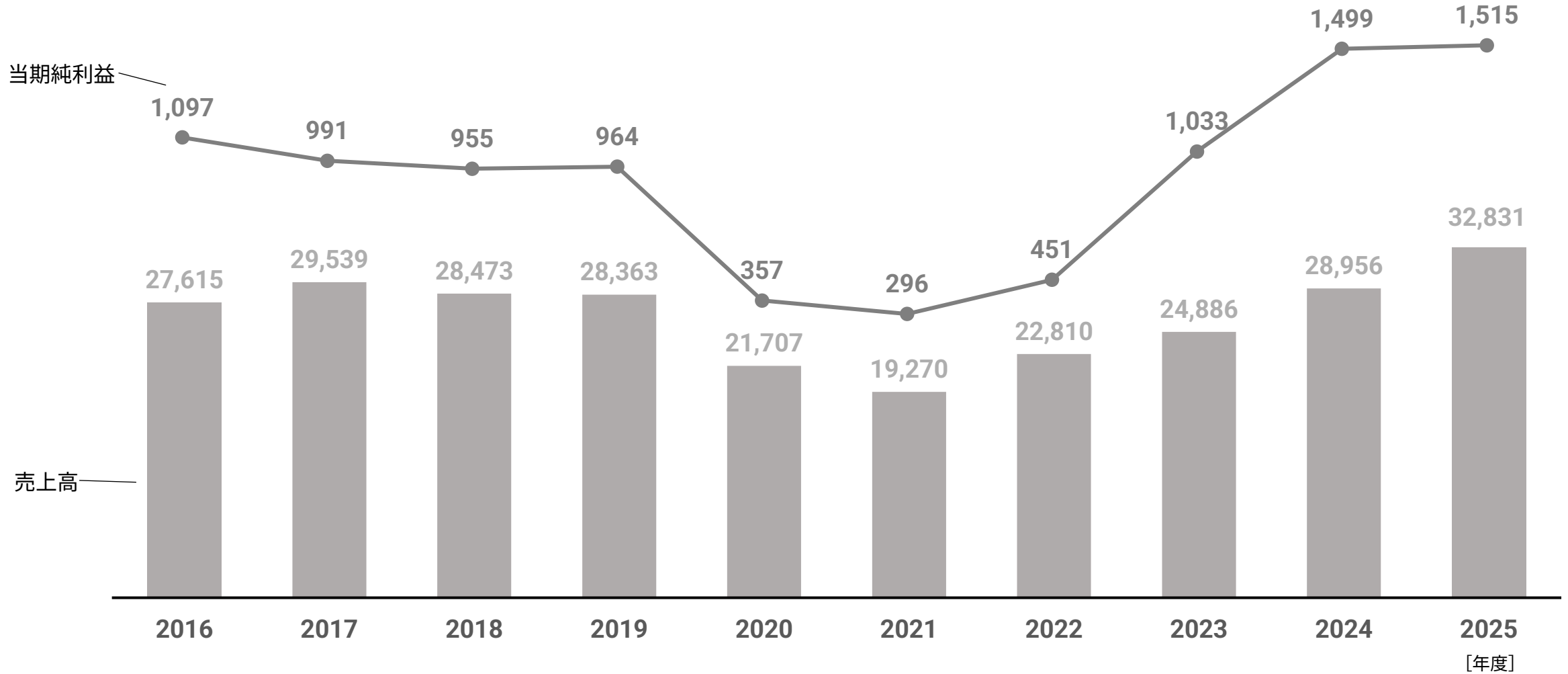
Mission

**未来にやさしい空間を**

利便性や効率、見た目だけを考えるのではなく、サステナビリティを意識した  
地球に負荷をかけないという本質的な価値を持つ空間を未来に残していきます。

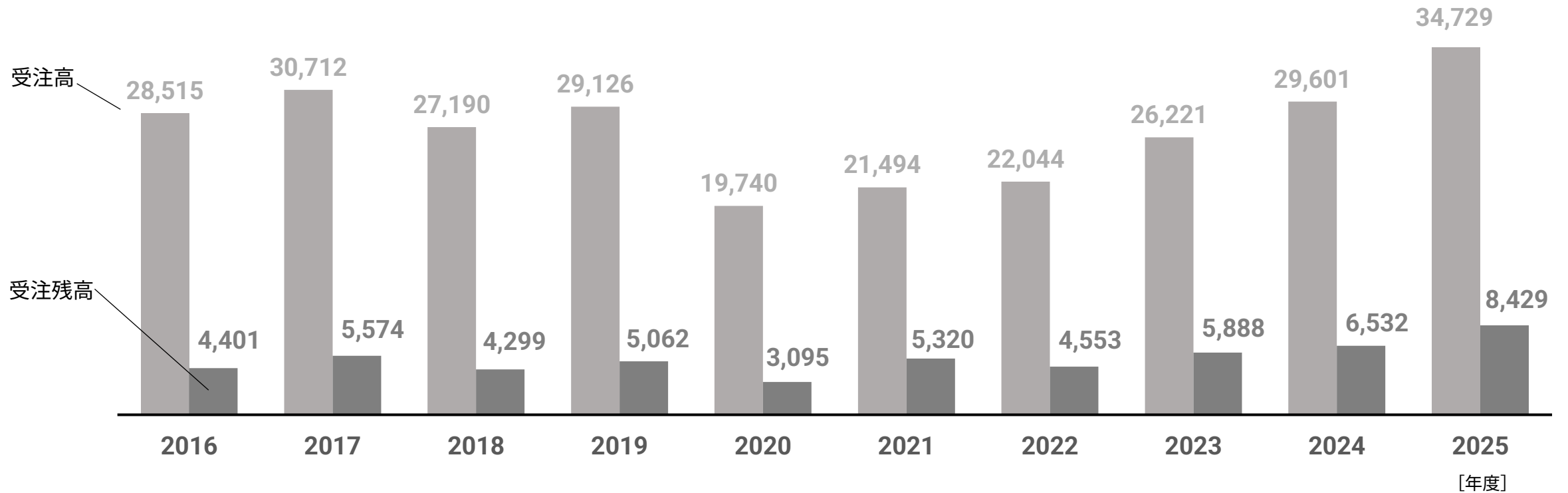
## 上場以降の売上・当期純利益推移

[単位：百万円]

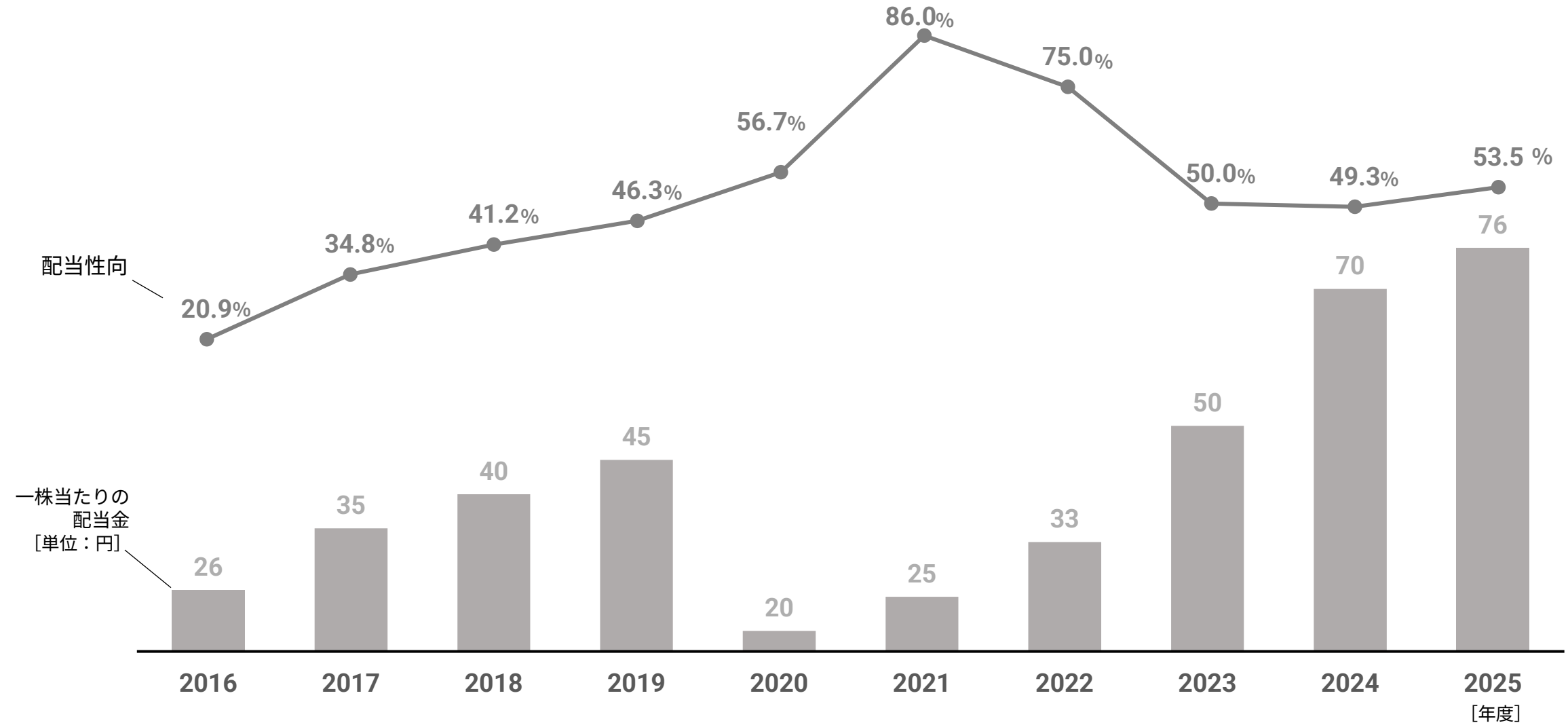


## 上場以降の受注高・受注残高推移

[単位：百万円]

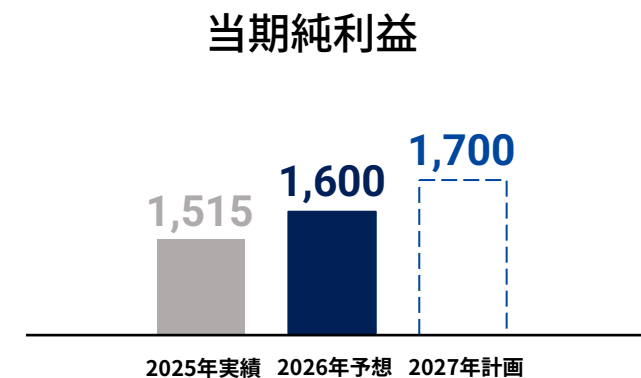
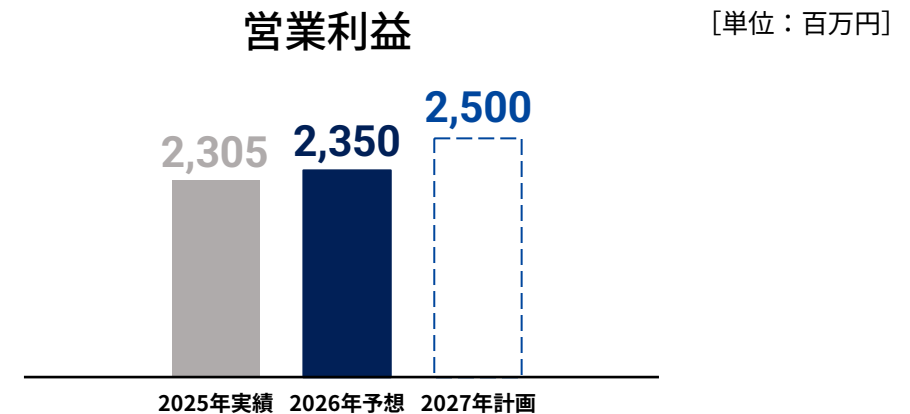
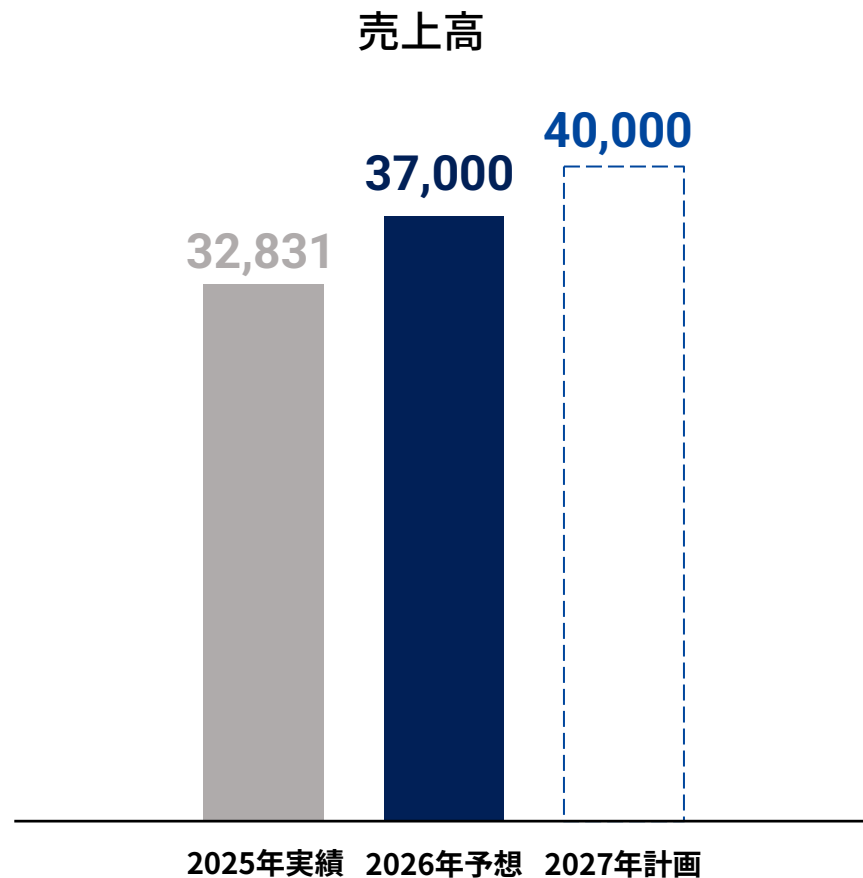


## 上場以降の配当推移



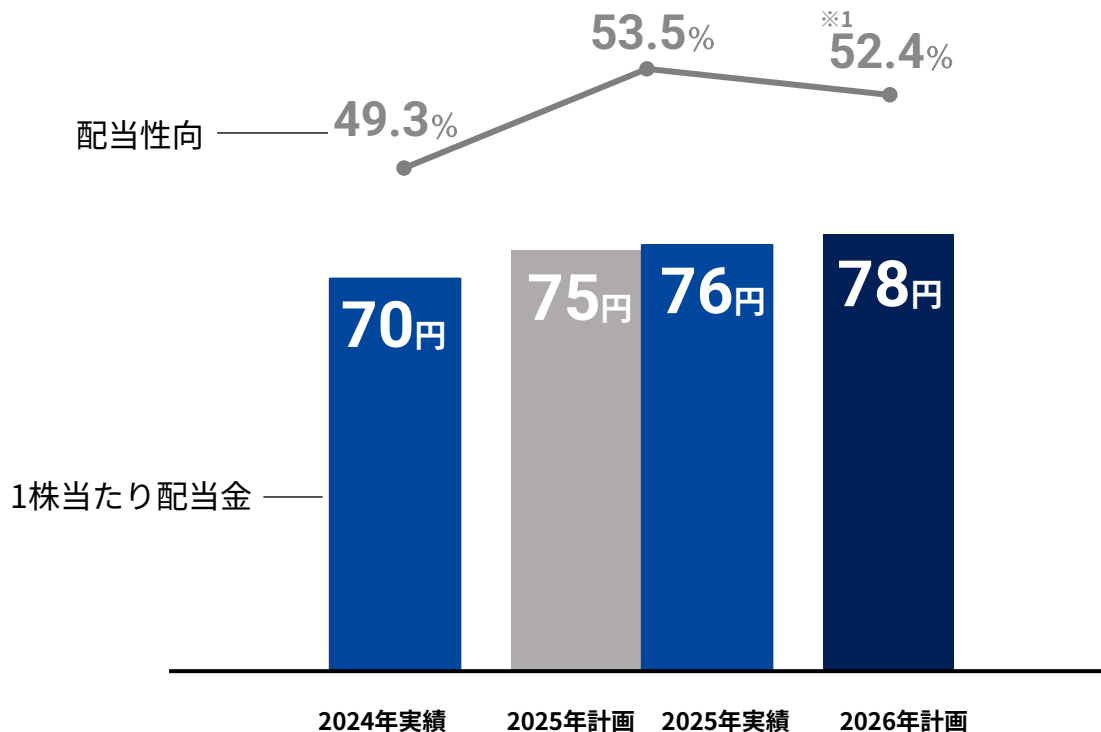
## 2026年12月期 業績予想

■ 中期経営計画2027における2027年度売上高400億円を目指し、売上拡大に向けた体制強化を図り更なる成長へ



## 配当計画

2026年は2円増配を計画



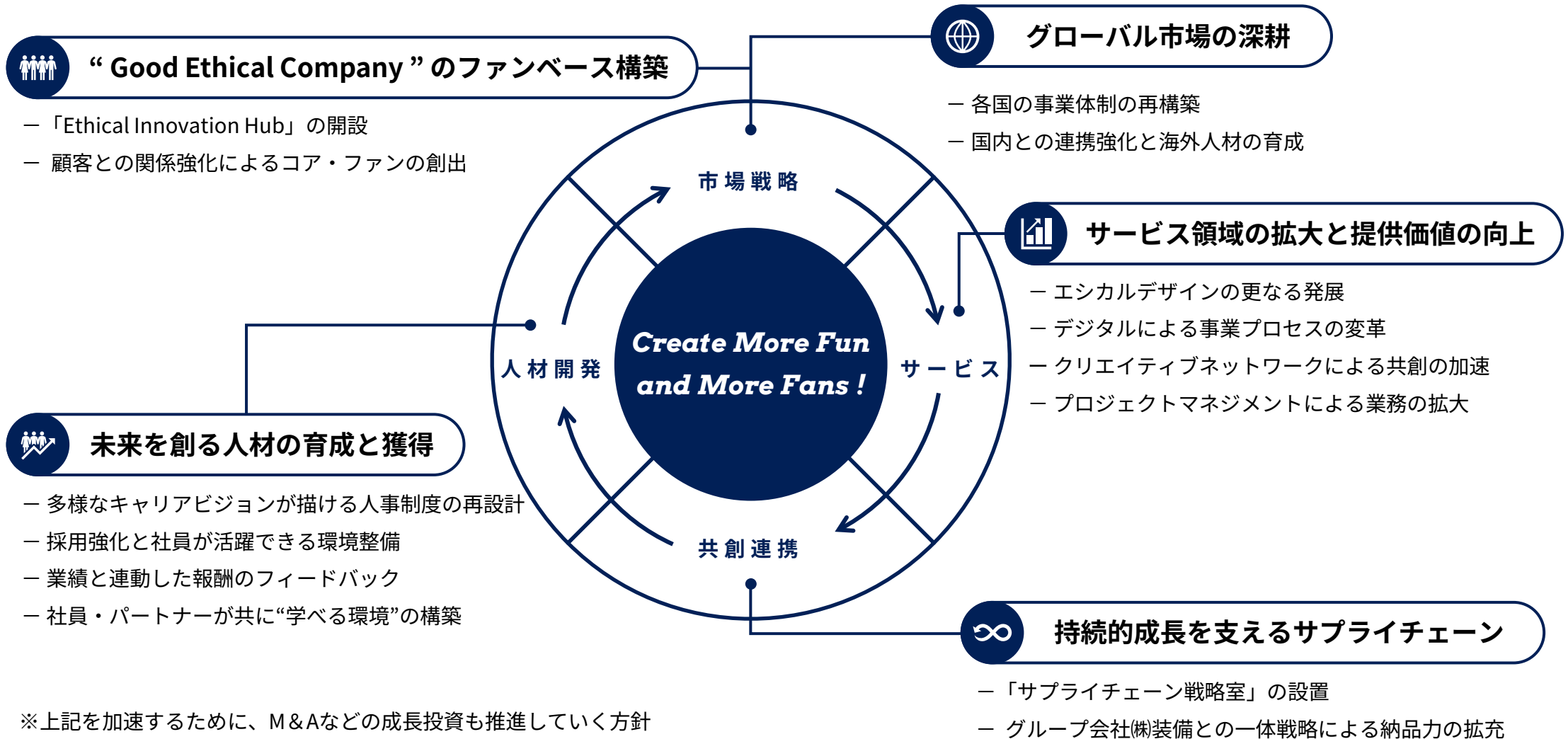
株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえた株主還元の実施

### 中期経営計画2027（2025～2027年）目標

配当性向	<b>50%以上</b>
------	--------------

※1 2026年計画の配当性向は2026年12月期予想ベース

## 中期経営計画2027における施策相関図



※上記を加速するために、M&Aなどの成長投資も推進していく方針

## 中期経営計画2027 財務目標

### 中期経営計画2027 最終年度目標

売上高	<b>400</b> 億円
営業利益	<b>25</b> 億円
純利益	<b>17</b> 億円

### 中期経営計画2027（2025～2027年）目標

配当性向	<b>50</b> %以上
ROE	<b>10</b> %以上

- 積極的な成長投資による企業規模の拡大、利益率の向上及び企業価値向上（人材戦略、DX戦略、海外戦略、M&A戦略）
- 資本構成の最適化による資本効率の改善
- 株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つとする基本方針を踏まえた株主還元の実施

**【ご注意事項】**

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。  
これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、  
その実現を保証するものではありません。  
実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

**【お問い合わせ先】**

株式会社 船場 経営企画部  
E-mail : ir@semba1008.co.jp